

川崎選手（北京五輪日本代表）に市民栄誉賞を贈呈



母校の生徒たちを前に、受賞の喜びを語る川崎選手

笠間市は、北京五輪の陸上女子競歩 20 ㎞で日本人トップの 14 位となった川崎真裕美選手（笠間市福田出身）に初の市民栄誉賞を贈ることを決め、9 月 22 日、母校の東中学校で贈呈式を行いました。川崎選手は、笠間市立佐城小学校・東中学校を卒業後、県立下館第二高等学校で競歩を始め、その後競歩の日本記録保持者として 3 度記録を更新。そして、アテネ、北京と二大会連続で五輪に出場されました。式典では、市の表彰状と笠間焼の陶板の盾の目録が贈られたほか、東中学校の生徒たちから花束などが贈られました。

祝・長寿

いつまでもお元気で

9 月 1 日、今年度 100 歳になる 7 人の方々が山口市長が訪問し、国と県の褒状並びに笠間市の記念品を手渡しました。100 歳達成者は次の皆さんです。

- 入 江 テルさん（笠間）
- 大和田 あきさん（平町）
- 柳 澤 計ッさん（大田町）
- 吉 田 ケイさん（東平）
- 山 田 くらさん（美原）
- 武 類 まつさん（東平）
- 長谷川 すッさん（押辺）



山口市長から褒状と記念品が贈られた入江テルさん

ま ち の 話 題

牛の放牧で遊休農地をきれいに

食の安心・安全や地産地消、食糧自給率が問われる中、農地の適正活用が重要な課題になっています。その一方で、農業者の減少や高齢化によって遊休農地と呼ばれる農地が急増し、社会的な問題になっています。笠間市では、この遊休農地の解消策の一つとして、9 月から牛の放牧を実施しています。この方法は、遊休農地の周囲に電気柵を設置して牛を 2～3 頭放牧し、繁茂する雑草を牛の飼料にして、遊休農地を徐々に解消していくというものです。この対策は試験的に橋爪若宮地区で実施していますが、今後、遊休農地に悩む耕種農家や飼料の高騰に悩む畜産農家、環境保全に取り組む地域などの一役を担えればと考えています。



放牧直後、雑草を食べ始めた牛たち



すっかりきれいになった遊休農地

センチュリーラン笠間 2008 700人のサイクリストが挑戦

笠間芸術の森公園を発着点に、9月7日、サイクリングの祭典「センチュリーラン笠間 2008」が開かれ、県内をはじめ関東地方を中心に約700人のサイクリストが参加しました。カラフルな衣装に身を包んだ選手たちは、筑波山を一周する最長155キロメートルの長距離サイクリングなどに挑みました。



笠間芸術の森公園北ゲートをスタートする選手たち

大高 真希選手 空手世界大会への切符を手に！

大高真希選手（佐城小5年）が、8月2日に行われた文部科学大臣杯第51回小学生・中学生全国空手道選手権大会（仙台市）の小学5年生女子「形の部」で敢闘賞を獲得し、来年開かれる世界大会（千葉市）への切符を手にしました。世界の舞台での活躍を期待しています。



賞状を手にする大高選手

災害時の物資の供給 （株）カスミと笠間市が協定を締結

笠間市は、災害時に食料品や日用品などの生活物資を調達するため、大規模小売店舗や流通業者と物資の供給に関する協定を結んでいます。その4件目として、9月25日、株式会社カスミと「災害時における物資の供給に関する協定」を市役所で締結しました。この協定は、被災者が必要とする生活物資を市の要請に応じて迅速に提供するもので、これまで、いばらきコープ生協、ジャスコ笠間店・笠間ショッピングセンター、コメリと協定を結んできました。



協定を締結した（株）カスミの内田人事総務本部長（左）と山口市長

子どもたちと英語で交流・読み聞かせ “ウェルカム・トゥ・えほんワールド”

8月20日、子どもたちに海外の絵本を英語で読み聞かせる「ウェルカム・トゥ・えほんワールド」が友部図書館で開かれました。この催しは、笠間市国際交流協会（埴東男会長）と図書館が英語や外国文学に親しんでもらおうと初めて企画したもので、多くの小学生が参加しました。フィリピンやカナダ出身のボランティアスタッフ4人が、外国人作家の絵本を英語で読み聞かせたり、身振り手振りて内容を伝えたりしたほか、カナダの手遊びなど多彩なメニューで子どもたちと交流しました。



英語で読み聞かせをする外国出身のボランティアスタッフ